



香川の
土地改良

発行所
香川県土地改良事業団体連合会
高松市番町2丁目4番27-301号
TEL(087)822-0303
FAX(087)851-1787
<http://www.midorinet-kagawa.or.jp/>



龍満池（高松市香川町）

目次

1. 香川県土地改良事業団体連合会第50回通常総会開催2
2. 第49回全国土地改良功労者表彰式・農業農村整備優良地区コンクール表彰式5
3. さぬき“水の歴史考”(56) 水利慣行の珍裁判
「四国作家」 同人 平井 忠志6~7
4. 平成19年度換地処分実務研修会及び土地改良換地士部会開催8
5. 人事異動9~14

第 50 回 通 常 総 会 開 催

本会の第 50 回通常総会が去る 3 月 25 日、高松市西の丸町の「ホテルニューフロンティア」において開催された。

総会は、県下の市町、土地改良区より会員多数の出席を得、来賓として県から真鍋知事をはじめ幹部職員、県議会から尾崎議長、中国四国農政局からは中川整備部長、五十嵐水利整備課長、国営香川農地防災事業所木下所長、四国土地改良調査管理事務所小林所長、更に独立行政法人水資源機構からは杉村吉野川局長、小森所長、県選出の木村衆議院議員ほか国会議員代理の方々多数が列席された。

開会にあたり、池田会長が挨拶。真鍋知事をはじめ来賓各位の出席により本総会に錦上花を添えていただいたお礼を述べた後、国の平成 20 年度農業農村整備予算の概要に触れ、6,677 億 3,600 万円は対前年比 1 パーセント減、依然と厳しい農業情勢を紹介。この限られた予算を如何に有効に活用するかが我々に課せられた使命と言及。また、食の安全安心、安定供給の確保ができるよう農業農村整備事業の重要性を強調、関係機関のご指導と会員各位のご協力、ご支援をお願いした後、総会議案の概要を説明した。

これに続き長年土地改良事業の推進に多大な貢献をされた方々に対する感謝状の贈呈と土地改良功労者表彰が行われ、お祝いとそのご労苦が称えられた。

続いて、来賓の真鍋知事、尾崎県議会議長、中川中国四国農政局長代理より祝辞が述べられた後、多度津町土地改良区理事長佐々木勇氏を議長に選出して議事に入り、第 1 号議案から第 9 号議案について原案どおり承認された。



池田会長



真鍋知事



尾崎議長

- 第 1 号議案 平成 18 年度事業報告及び一般会計収支決算並びに財産目録の承認について
- 第 2 号議案 平成 19 年度賦課金の調定について
- 第 3 号議案 平成 19 年度一般会計収支補正予算の理事会専決処分の承認について
- 第 4 号議案 平成 20 年度事業計画及び一般会計収支予算について
- 第 5 号議案 平成 20 年度賦課金の賦課基準並びに賦課徴収の時期及び方法について
- 第 6 号議案 一時借入金の借入及び借入限度額について
- 第 7 号議案 平成 20 年度役員報酬について
- 第 8 号議案 預託金融機関の決定について
- 第 9 号議案 創立 50 周年記念事業について

第 47 回土地改良功労者表彰



香川県職員表彰者名簿

所 属 職 名	氏 名
(前) 香川県東讃土地改良事務所 指導課長	岡本 憲治
(前) 香川県小豆総合事務所 土地改良課長	工藤 正利
(前) 香川県中讃土地改良事務所 副主幹	尾崎 良彦

第 47 回土地改良功労表彰者名簿

所 属 名	職 名	氏 名
高松市古高松土地改良区	(前)副理事長	稲田 稔
満濃町土地改良区	理 事	今井 清一
高松市屋島東町土地改良区	監 事	小河 正則
小豆島町土地改良区	第 1 理事	大橋 四作
丸亀市飯山町土地改良区	理 事 長	大川 洪吉
大内土地改良区	理 事	鎌田 照夫
満濃池土地改良区	(前)総代	小橋 孝雄
豊浜町土地改良区	総 代	合田 義久
四箇池土地改良区	(前)書記	嶋村美左枝
坂出市江尻土地改良区	理 事 長	中條 甫
丸亀市川西土地改良区	理 事 長	富田 重義
多度津町土地改良区	監 事	中津 幸雄
観音寺市観音寺町土地改良区	第 1 理事	中山 照重
香川県内場池土地改良区	会計主任	西山真由美
三豊市財田町土地改良区	総 代	細川 敏和
綾歌郡永富池土地改良区	理 事	細川 正男
平池土地改良区	理 事 長	正木 義則
さぬき市寒川土地改良区	総 代	六車 満昭
豊稔池土地改良区	理 事 長	村上 明秋
三豊市山本町土地改良区	理 事	山本 正夫



受賞の謝辞を述べる豊稔池土地改良区村上理事長

決 議

農業・農村は、国民に食料を安定供給するとともに、豊かな自然環境、美しい景観の保全などの多面的な機能の発揮を通じて、日本の国土を形成し、国民の日々の暮らしを支えてきた。

しかしながら、三位一体改革などこれまでの構造改革により都市と地方の格差は拡大し、米価の下落などにより農家経済は危機的な状況に陥っている。また、過疎化、高齢化が進む中で、耕作放棄地は拡大し、食料自給率は 40%を下回る状況となった。さらには、食の安全安心に対する信頼感が揺らぐとともに、地球温暖化の進展、国際的な穀物価格の上昇など将来の食料の安定供給の確保に対する懸念が高まっている。

こうした時代の中で、我々水土里ネットは、農業・農村の「水」「土」「里」と、これらを育み結びつける「人の営み」を、次の世代により良い形で引き継ぎ、かけがえのない国土と豊かな国民生活を守っていかねばならない。

先人の叡智と連綿と積み重ねられてきた努力にならい、今の時代に生きる我々もこれを自らの責務とし、その使命を果たしていく覚悟が必要である。

新たな半世紀に臨むに当たり、下記事項の実現を図り、一致団結して、農業農村整備を推進していくことを総会の名において決議する。

記

1. 安全・安心な食料の安定供給の確保や農業・農村が持つ多面的な機能の発揮を図るため、その基礎となる農地や農業用水の整備・保全並びに農村の振興に必要な施策として、国と地方の適切な役割分担のもと、農業農村整備を着実に推進していくこと
1. 特に、国民への食料の安定供給を担う大規模かつ優良な農業地帯の農業生産を支える基幹的な農業水利施設については、今後とも国の責務において着実な整備・更新が図られるよう取り組んでいくこと
1. 農業の地域資源や農村環境の保全向上を図る「農地・水・環境保全向上対策」に対し、水土里ネットとして主体的に取り組んでいくこと
1. 担い手への農地の面的な集積や耕作放棄地の解消等を通じた国内農業の体質強化に貢献するため、農地情報の緊急的な整備に取り組んでいくこと
1. 災害に強い農業農村づくりに向けた防災対策等を計画的に進めるとともに、都市と農村の共生対流を通じて農村の活性化に取り組んでいくこと
1. 水土里ネットの名に相応しい役割と責務を十分認識し、時代の要請に応じた地域づくりの拠点としての機能を果たすべく、関係者が一丸となって「21世紀土地改良区創造運動」に邁進していくこと

以上、決議する。

平成 20 年 3 月 25 日

香川県土地改良事業団体連合会第 50 回通常総会

第49回全国土地改良功労者表彰式 農業農村整備優良地区コンクール表彰式



丸亀市田村池
太井池土地改良区
(前)理事長 大西幸夫氏



高松市十河土地改良区
書記 三村峯子氏

平成 20 年 3 月 27 日、第 49 回全国土地改良功労者表彰式並びに平成 19 年度農業農村整備優良地区コンクール表彰式が、東京都千代田区のシェーンバッハ砂防で開催された。式には、全国から各受賞団体の代表者、個人功労者、農林水産省からは今村副大臣、中條農村振興局長ら幹部、佐藤参議院議員等関係者多数が出席した。

冒頭挨拶に立った野中会長は、受賞者の労をねぎらうとともに、「今後も土地改良事業の推進と地域振興にご尽力を賜われますよう心からお願い申し上げます」と述べた。

土地改良功労表彰では、団体表彰で農林水産大臣表彰優良土地改良区 5 地区、金章 42 地区、銀章 47 地区、銅章 43 地区が受賞、個人表彰として 100 名が晴れの栄誉を受けた。本県からは、団体の部で、金章として北條池土地改良区、銀章に木田郡二股土地改良区、銅章に仲南町土地改良区、観音寺市高室土地改良区、個人の部では長年に亘り土地改良事業に功労のあった、丸亀市田村池太井池土地改良区前理事長の大西幸夫氏、高松市十河土地改良区書記の三村峯子氏が受賞された。ここに、受賞の栄に浴された団体並びに個人の方々に心よりお慶び申し上げます。



北條池土地改良区 富田副理事長



木田郡二股土地改良区 小林理事長

一方、平成 19 年度農業農村整備優良地区コンクールでは、農林水産大臣賞に群馬県の昭和第 1 地区ほか 2 地区、農村振興局長賞に石川県の下安原地区ほか 3 地区、全国水土里ネット会長賞に茨城県の南川又地区ほか 3 地区が表彰され、表彰状と記念品が手渡された。

さぬき “水の歴史考”

(56) 水利慣行の珍裁判 (その二)

(「四国作家」 同人) 平井 忠志

前回のあらすじ

江戸時代の初期に築造された久米池（高松市新田町）は、配水をめぐって、水利の内部で争いが絶えなかった。明治十年には池掛り末端の東西瀧元村が、平等配水の権利を主張して、春日・新田両村を松山地方裁判所に訴えて勝訴した。

敗訴した新田・春日村は、直ちに大阪上等裁判所に控訴した。一転して被告となった瀧元村は、巧みな法廷戦術を駆使して裁判官を翻弄し、裁判を混迷させた。

答弁書の提出を拒否

明治十一年末、大阪上等裁判所は瀧元村へ控訴状を送り、答弁書の提出を求めた。だが瀧元村はあくまで答弁書の提出を拒否し、翌十二年一月になって、代人（弁護士）を裁判所に出廷させて手続きの無効を訴えた。その要旨は

- (1) 太政官布告によれば、裁判書類は役所の所定の用紙を用いることになっている。この申渡書には、それが使用されていない。
- (2) この控訴状は柏原小三郎ほか五名の個人を相手にしたものであるから、答弁する必要はない。時は明治とはいえ封建時代の意識が抜けきらず、官尊民卑を絵にかいたような時代である。水利紛争の本題をそれて、裁判手続きの誤りをここまで理詰めにしたのでは、裁判官のメンツは丸つぶれである。

答弁の権利放棄とみなす

裁判官もいささか頭にきたとみえ、答弁書がないまま強引に裁判を強行した。しかも、「当裁判所のやり方に不服があるなら、その筋に上告せよ。あくまで答弁書を提出しないなら、答弁の権利を放棄したものとみなす」として、次のように判決を申し渡した。

「前条ノ理由ナルヲ以テ、瀧元村ノ水田ハ旧慣ニ従ヒ、久米池水ヲ以テ足シ水トナスヲ得ルトイヘドモ、該水ヲ以テ各村同等に灌漑ノ権利コレ無キ者也」

つまり瀧元村は、平等配水を要求する権利はないと、逆転敗訴を申し渡されたのである。

舞台は大審院へ

こうなると収まらないのは、瀧元村側である。「理は当村側にある。今回の判決は、お上の暴挙というほかない」として、直ちに東京の大審院（現最高裁判所）に、二審判決無効の申立てを起こした。

この時の記録によると、原告の瀧元村は総勢八十五人の名を連ね、うち五名を総代とし、さらに弁護士役として高知県土佐郡の士族一名を代人に立てている。

一方、訴えられた春日、新田の両村は二百八人の名を連ね、うち五名を総代として、香川郡の士族某を代人に立てている。



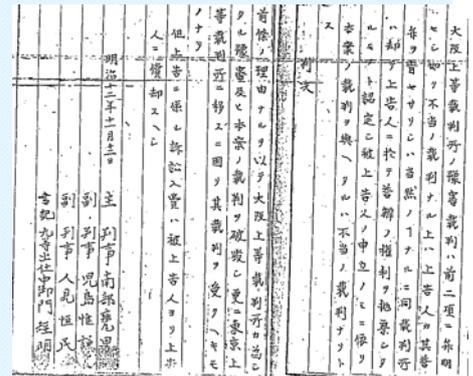
久米池（高松市新田町）

審理のやり直しを命ず

この上告は裁判手続きの当否を争う問題であったが、さすが大審院はこれをきれいに裁いている。その判決を要約すると、

- (1) 春日、新田村は瀧元村を相手に控訴すべきところを、元の総代である個人を控訴したのは、裁判手続き上のミスと言わざるをえない。
- (2) この誤りを正さずに大阪上等裁判所が、いきなり東西瀧元村に答弁を要求したのは、不当の裁判と言わざるをえない。
- (3) 瀧元村が答弁に応じなかったのは当然で、これを「答弁放棄」とみなしたのは不当である。
- (4) よって大阪上等裁判所の判決を破棄し、これを東京上等裁判所に移して、審理のやり直しを命ずる。

と、二審判決の差し戻しを命じた。時に明治十二年十一月であった。



第 1 回 大審院判決

一旦は和解か？

大審院から東京上等裁判所に移された差し戻し審の判決がどうなったかは、残念ながら資料が残っていない。土地の古老の話によれば、両者が和解したとも言われる。

なにか裏付け資料でもないかと探していたところ、春日、新田村の「久米池分水訴訟費用明細書」が出てきた。これによると、

「訴訟入費総計千九百四円二十二銭一厘也、うち金十五円也（瀧元村和解より償い）」

とあり、残金は新田村が六割、春日村が四割負担となっている。そして、

「右は新田、春日両村総代立会のうえ清算。右のとおり相違御座無く候也。明治十四年十一月十四日」

とあり、瀧元村から和解金として十五円が支払われている。

春日、新田村が執念の上告

しかしこの事件は、このままでは収まらなかった。春日、新田村にしてみれば、江戸時代を通じて百年余り続いてきた水利慣行を、真っ向から否定されたことが、我慢できなかつたのだろう。

春日、新田村はどういう手続きを踏んだものか、その後あらためて大審院に上告している。これに対し大審院では、明治十七年六月九日に最終判決を下している。

水利慣行に軍配あがる

大審院は、江戸時代から続いてきた水利慣行に、軍配を上げた。

- (1) 古文書によると、瀧元村が久米池掛りに加入したのは明和年間（江戸時代中期）であり、以後「足し水」だけの配分を受けていたことは明白である。
- (2) 瀧元村が久米池の入費を平等に負担しているのは、新たに久米池掛りに加入して配水を受ける報酬として、その義務を尽くしているに過ぎない。
- (3) 従って瀧元村は、入費平等負担を理由に、春日、新田村と同等の配水を要求する権利は認められない。

※ ※ ※ ※

いま久米池は、パイプラインにより香川用水が導入され、豊潤な用水を湛えた水面に逆さ屋島の影を映して、静かなたたずまいを見せている。

平成 19 年度換地処分実務研修会及び土地改良換地士部会開催



去る 3 月 7 日、高松市番町の香川用水記念会館において換地処分実務研修会を開催した。

この研修は水土保全強化対策事業の一環として、換地処分技術の強化と事務処理能力の向上を目的に本会が毎年実施している。本年は、県、市町、土地改良区、県土連の役職員 47 名が参加した。

開会に当たり、本会の山地常務理事より、昨今のほ場整備に伴う換地処分事務は、土地所有者の権利意識の高揚から調整、合意形成が難しくなっており、本研修会がこれらの円滑な処理に効果があることを期待すると挨拶があった。続いて下記カリキュラムにより研修を行ったが、どの科目も業務に直接関係があるため、参加者は終始講師の説明に聞き入っていた。

時間割	研修科目	講師
10:00～12:00	換地に関わる訴訟並びに換地業務遂行上の諸問題 (換地早わかり Q&A より)	全国土地改良事業団体連合会 中央換地センター (前)参与 本郷正彦
13:00～14:00	農地制度について	香川県農政水産部農政課 課長補佐 香川隆彦
14:00～15:00	換地に関する登記上の諸手続きについて	香川県東讃土地改良事務所 総務課 木田和夫

また、この換地処分実務研修会に続き、本会会議室において香川県土地改良換地士部会を開催。この部会は、県内土地改良換地士の参加希望者によって構成されており、換地事務を適正、かつ能率的に遂行するため、次の内容について活発に協議がなされた。

- (1) 部会長、副部会長の選任について
- (2) 平成 19 年度換地処分事務量及び処理状況について
- (3) 平成 19 年度土地改良換地士特別研修報告
- (4) 異議紛争処理事例等について

人事異動

香川県（4月1日付）

部長級配置換

新	旧	身分	氏名
健康福祉部長	農政水産部長	香川県職員	山田哲也

部長級転任

農政水産部長	水道局長	香川県職員	天雲俊夫
--------	------	-------	------

次長級配置換

農政水産部次長 (兼) 政策調整監・防災局参事	総務部次長(兼) 政策調整監・防災局参事(兼) 総務学事課長・人権・同和政策課主幹事務取扱	香川県職員	山地耕太郎
----------------------------	---	-------	-------

次長級出向

病院局長(併) 防災局参事	農政水産部次長(兼) 政策調整監・防災局参事(兼) 農政課長・人権・同和政策課主幹事務取扱	香川県職員	香西一憲
---------------	---	-------	------

次長級退職（3月31日付）

定年により退職	農政水産部次長	香川県職員	鈴木登美雄
---------	---------	-------	-------

課長級配置換

土地改良課副課長	県民活動・男女共同参画課副課長	香川県職員	井上隆夫
土地改良課主幹(兼) 課長補佐(総括)	水資源対策課主幹(水資源対策担当)	香川県職員	森喜代太
土木監理課用地対策室長	土地改良課副課長	香川県職員	佐藤勝也
技術企画課工事検査室検査主幹	西讃土地改良事務所長(兼) 野口ダム管理事務所長	香川県職員	石井悟
西讃土地改良事務所長(兼) 野口ダム管理事務所長	土地改良課主幹(兼) 課長補佐(総括)	香川県職員	飯間勝

課長級退職（3月31日付）

定年により退職	技術企画課工事検査室検査主幹	香川県職員	渡辺謙
定年により退職	中讃土地改良事務所次長(兼) 防災・監督主幹	香川県職員	窪田義彦

課長級昇任

水資源対策課主幹(水資源対策担当)	東讃土地改良事務所事業第一課長	香川県職員	山本洋一
環境森林部政策主幹(兼) 環境政策課副課長・政策課主幹	農村整備課長補佐	香川県職員	池田正志
中讃土地改良事務所次長(兼) 防災・監督主幹	土地改良課長補佐	香川県職員	亀野好伸

課長補佐級配置換

自治振興課長補佐	土地改良課副主幹(兼) 農村整備課副主幹	香川県職員	赤松健司
水資源対策課長補佐	西讃土地改良事務所指導課長	香川県職員	小山輝己
水資源対策課副主幹	農村整備課副主幹(兼) 技術企画課工事検査室専門検査員	香川県職員	宮崎博文
農業生産流通課副主幹	農村整備課副主幹	香川県職員	高橋輝

新	旧	身 分	氏 名
土地改良課副主幹 (兼) 農村整備課副主幹	土木監理課用地対策室副主幹	香川県職員	津 郷 武
土地改良課長補佐	東讃土地改良事務所副主幹	香川県職員	阿 部 泰 人
土地改良課副主幹	中讃土地改良事務所副主幹	香川県職員	中 村 正 樹
農村整備課長補佐	農村整備課副主幹	香川県職員	横 内 春 夫
農村整備課長補佐	東讃土地改良事務所副主幹	香川県職員	吉 本 政 輝
農村整備課副主幹	中讃土地改良事務所副主幹	香川県職員	都 築 重 範
技術企画課工事検査室専門検査員	中讃土地改良事務所副主幹	香川県職員	齊 藤 康 徳
小豆総合事務所副主幹	東讃土地改良事務所副主幹	香川県職員	小 林 佳 彦
東讃土地改良事務所総務課長	河川砂防課長補佐 (総括)	香川県職員	多 田 正 春
東讃土地改良事務所事業第一課長	土地改良課副主幹	香川県職員	喜 多 一 夫
東讃土地改良事務所副主幹	土地改良課副主幹 (兼) 技術企画課工事検査室専門検査員	香川県職員	井 川 一 郎
東讃土地改良事務所副主幹	中讃土地改良事務所副主幹	香川県職員	田 渕 巧
東讃土地改良事務所副主幹	中讃土地改良事務所副主幹	香川県職員	真 鍋 一 夫
中讃土地改良事務所事業第一課長	西讃土地改良事務所副主幹	香川県職員	横 山 誠 司
中讃土地改良事務所副主幹	東讃土地改良事務所副主幹	香川県職員	富 田 一 史
中讃土地改良事務所副主幹	東讃土地改良事務所副主幹	香川県職員	平 賀 正 宏
西讃土地改良事務所副主幹	西讃農業改良普及センター副主幹	香川県職員	藤 川 ひとみ
西讃土地改良事務所指導課長	農村整備課長補佐 (兼) 技術企画課工事検査室専門検査員	香川県職員	鎌 田 善 一
西讃土地改良事務所副主幹	中讃土地改良事務所副主幹	香川県職員	長 尾 義 博
白鳥病院業務課長	東讃土地改良事務所総務課長	香川県職員	松 本 伊三男

課長補佐級退職 (3月31日付)

願いにより香川県職員を免ずる	東讃土地改良事務所副主幹	香川県職員	中 村 正 男
願いにより香川県職員を免ずる	東讃土地改良事務所副主幹	香川県職員	細 谷 一 雄
定年により退職	中讃土地改良事務所事業第一課長	香川県職員	森 口 幸 男
定年により退職	西讃土地改良事務所副主幹	香川県職員	辻 輝 代

課長補佐級昇任

土地改良課副主幹	中讃土地改良事務所主任	香川県職員	亀 井 正 知
東讃土地改良事務所副主幹	東讃土地改良事務所主任	香川県職員	登 倉 耕 太 郎

係長級配置換

自治振興課主任 (東かがわ市へ派遣)	土地改良課主任	香川県職員	白 山 勇
総務事務集中課主任	土地改良課主任 (兼) 農村整備課主任	香川県職員	藤 井 比 佐 王
土地改良課主任	医務国保課主任	香川県職員	井 上 正 夫
土地改良課主任	水産課主任	香川県職員	山 地 恭 博
土地改良課主任	東讃土地改良事務所主任	香川県職員	大 谷 恭 弘
土地改良課主任	中讃土地改良事務所主任	香川県職員	松 平 和 也
農村整備課主任	農業試験場府中分場主任研究員	香川県職員	川 原 清 剛

新	旧	身 分	氏 名
農村整備課主任	東讃土地改良事務所主任	香川県職員	三好芳憲
水産課主任	土地改良課主任	香川県職員	森岡順一
住宅課主任	西讃土地改良事務所主任	香川県職員	田中丈寛
東京事務所主任 ((株)三井住友銀行へ派遣)	東讃土地改良事務所主任	香川県職員	赤熊伸彦
西讃保健福祉事務所主任	中讃土地改良事務所主任	香川県職員	渡邊誠
農業試験場主任研究員	農村整備課主任	香川県職員	十川和士
東讃土地改良事務所主任	土地改良課主任	香川県職員	田坂悦朗
東讃土地改良事務所主任	農村整備課主任	香川県職員	藤井康雄
東讃土地改良事務所主任	小豆総合事務所主任	香川県職員	中井勝敏
東讃土地改良事務所主任	中讃土地改良事務所主任	香川県職員	井下和幸
東讃土地改良事務所主任	中讃土地改良事務所主任	香川県職員	上野真樹
東讃土地改良事務所主任	中讃土地改良事務所主任	香川県職員	川西幸浩
東讃土地改良事務所主任	中讃土地改良事務所主任	香川県職員	和木繁
中讃土地改良事務所主任	中讃農業改良普及センター主任	香川県職員	福家令子
中讃土地改良事務所主任	土地改良課主任	香川県職員	香西達也
中讃土地改良事務所主任	小豆総合事務所主任	香川県職員	増田浩城
中讃土地改良事務所主任	東讃土地改良事務所主任	香川県職員	岩瀬信夫
中讃土地改良事務所主任	東讃土地改良事務所主任	香川県職員	北畠正照
中讃土地改良事務所主任	東讃土地改良事務所主任	香川県職員	多田敏幸
中讃土地改良事務所主任	東讃土地改良事務所主任	香川県職員	日笠弘義
中讃土地改良事務所主任	東讃土地改良事務所主任	香川県職員	柳澤和彦
中讃土地改良事務所主任	西讃土地改良事務所主任	香川県職員	新川修
西讃土地改良事務所主任	中讃土地改良事務所主任	香川県職員	石村安弘
西讃土地改良事務所主任	中讃土地改良事務所主任	香川県職員	猪池直人
西讃土地改良事務所主任	中讃土地改良事務所主任	香川県職員	林幸治
高松土木事務所主任	東讃土地改良事務所主任	香川県職員	田淵広明

係長級出向

教育センター主任	土地改良課主任	香川県職員	平木智恵美
----------	---------	-------	-------

係長級退職（3月31日付）

定年により退職	東讃土地改良事務所主任	香川県職員	長尾公代
---------	-------------	-------	------

係長級昇任

東讃土地改良事務所主任	東讃土地改良事務所	香川県職員	藤田和孝
東讃土地改良事務所主任	西讃土地改良事務所	香川県職員	西内理
中讃土地改良事務所主任	中讃土地改良事務所	香川県職員	木村彰文
西讃土地改良事務所主任	中讃土地改良事務所	香川県職員	大西忍

一般職員配置換

新	旧	身 分	氏 名
東讃県税事務所	土地改良課	香川県職員	兵頭千里
東讃土地改良事務所	中讃土地改良事務所	香川県職員	猪熊英理奈
東讃土地改良事務所	西讃土地改良事務所	香川県職員	井内正広
東讃土地改良事務所	西讃土地改良事務所	香川県職員	川田徹
中讃土地改良事務所	小豆総合事務所	香川県職員	喜田晋
西讃土地改良事務所	土地改良課	香川県職員	渡部和大

一般職員転任

土地改良課	教育委員会事務局高校教育課 (併) 情報政策課 (併執)	香川県職員	高尾耕治
-------	---------------------------------	-------	------

一般職員退職 (3月31日付)

定年により退職	中讃土地改良事務所	香川県職員	佐藤千枝
---------	-----------	-------	------

一般職員採用

西讃土地改良事務所	香川県職員	福田理尊
-----------	-------	------

中国四国農政局香川農地防災事業所 (3月31日付)

新	旧	氏 名
退職	香川農地防災事業所 次長	難波俊章

中国四国農政局香川農地防災事業所 (4月1日付)

新	旧	氏 名
中国土地改良調査管理事務所 庶務課長	香川農地防災事業所 庶務課長	高橋順司
中海干拓建設事業所 工事第一課長	香川農地防災事業所 工事第一課長	古谷義弘
那賀川農地防災事業所 工事第二課長	香川農地防災事業所 中部支所長	福留正昭
那賀川農地防災事業所 工事第一課長	香川農地防災事業所 工務官	納田信男
中海干拓建設事業所 用地調整官	香川農地防災事業所 用地官	曾田稔
四国東部農地防災事務所 用地第三課補償第4係長	香川農地防災事業所 用地係長	山田穂吾
四国東部農地防災事務所 調査設計課課長補佐	香川農地防災事業所 設計係長	永木隆介
四国東部農地防災事務所 調査設計課設計第1係長	香川農地防災事業所 工事第1係長	長塩清
中国四国農政局 土地改良技術事務所 企画情報課システム運用第2係長	香川農地防災事業所 工事第2係長	津郷和英
中国四国農政局 総務部総務課支給係	香川農地防災事業所 庶務係員	今宮里歌
中国四国農政局 農村計画部土地改良管理課事業 効果係長	香川農地防災事業所 経理係員	三田義雄
高知三波川帯農地保全事業所 工事課工事第1係	香川農地防災事業所 調査係員	唐木美智子
香川農地防災事業所 次長	中海干拓建設事業所 次長	大川茂男
香川農地防災事業所 庶務課長	香川農地防災事業所 用地課長	日野大成
香川農地防災事業所 工事課長	香川農地防災事業所 工事第二課長	山口恭弘
香川農地防災事業所 庶務課用地補償係長	香川農地防災事業所 補償係長	平松秀章
香川農地防災事業所 工事課調査係長	香川農地防災事業所 調査係長	竹下博文
香川農地防災事業所 工事課設計係長	香川農地防災事業所 工事第1係長	木村良
香川農地防災事業所 工事課工事係長	香川農地防災事業所 工事第2係長	寺戸有希

新	旧	氏 名
中国四国農政局 土地改良技術事務所 建設技術課環境技術係長	香川農地防災事業所 工事第 2 係長	眞 鍋 直 子

中国四国農政局四国土地改良調査管理事務所（3月31日付）

新	旧	氏 名
退職	四国土地改良調査管理事務所 調査課調査係長	石 川 利 導

中国四国農政局四国土地改良調査管理事務所（4月1日付）

新	旧	氏 名
中国四国農政局整備部付け	四国土地改良調査管理事務所 所長	小 林 隆 信
四国東部農地防災事務所 用地第一課補償第 1 係長	四国土地改良調査管理事務所 庶務課庶務係長	園 木 保
東海農政局 農村計画部資源課環境保全官	四国土地改良調査管理事務所 調査課長	井 口 三 郎
中国四国農政局 農村計画部資源課土地資源開発調査係	四国土地改良調査管理事務所 調査課調査係	森 祐 子
四国土地改良調査管理事務所 所長	農村振興局 設計課施工企画調整室技術指導官	鈴 村 和 也
四国土地改良調査管理事務所 庶務課庶務係長	豊北農地整備事業所 庶務課庶務係長	辻 川 創 平
四国土地改良調査管理事務所 調査課長	東海農政局 農村計画部資源課環境保全官	池 浦 康 広
四国土地改良調査管理事務所 調査課調査係	中国四国農政局 農村計画部資源課環境影響評価係	平 位 拓 也
四国土地改良調査管理事務所 調査課調査係	近畿農政局農村計画部資源課環境保全係	石 河 重 史
四国土地改良調査管理事務所 保全技術課長	那賀川農地防災事業所 工事第二課長	松 岡 光 昭
四国土地改良調査管理事務所 保全技術課保全技術係長	四国土地改良調査管理事務所 保全対策課保全技術係長	成 松 誠 司
四国土地改良調査管理事務所 保全技術課資源保全係長	四国土地改良調査管理事務所 保全対策課資源保全係長	河 相 泰 信
四国土地改良調査管理事務所 保全技術課機能診断係長	徳島農政事務所 統計部統計企画課調整係長	天 賢 孝

香川県土地改良事業団体連合会（3月31日付）

氏 名	新	旧
三 好 悟	退職	事務局次長（兼）換地登記課長
三 好 隆 義	退職	企画指導課主幹（兼）換地登記課長補佐

香川県土地改良事業団体連合会（4月1日付）

氏 名	新	旧
湊 敏 好	事務局次長（兼）調査設計課長（兼）農業集落排水課長（兼）小豆支所長	中部支所長（兼）大川支所長
林 貢 一	換地登記課長	換地登記課主幹
上 原 秀 雄	中部支所長（兼）大川支所長	三豊支所長
高 木 康 博	三豊支所長	調査設計課長（兼）農業集落排水課長（兼）小豆支所長
十 鳥 勉	換地登記課（仲多度支所勤務）主幹	仲多度支所次長
野 瀬 康 弘	総務課主幹（兼）企画指導課主幹（兼）電算課長補佐	総務課主幹（兼）企画指導課主幹
鎌 田 忠	調査設計課主幹（兼）農業集落排水課主幹（兼）電算課長補佐	調査設計課主幹（兼）農業集落排水課主幹
前 川 公 則	仲多度支所次長	仲多度支所副主幹
石 田 一	電算課副主幹	電算課副主幹（兼）総務課副主幹
岸 上 静 江	換地登記課副主幹（兼）企画指導課副主幹	換地登記課係長（兼）企画指導課係長
富 永 雅 人	換地登記課副主幹（兼）電算課副主幹	換地登記課（中部支所勤務）係長

氏 名	新	旧
白 川 邦 明	三豊支所副主幹	三豊支所主任
竹 内 靖	企画指導課副主幹（兼）電算課副主幹	企画指導課係長（兼）電算課係長
橋 田 裕 文	仲多度支所副主幹	仲多度支所主任
澤 田 美登利	換地登記課係長（兼）調査設計課係長	換地登記課（中部支所勤務）係長
前 田 清 誉	大川支所主任	三豊支所主任技師
真 部 紀美代	企画指導課係長（兼）電算課係長	企画指導課主任主事（兼）電算課主任主事
國 土 通 康	換地登記課（仲多度支所勤務）主任技師	仲多度支所主任技師
高 橋 和 久	電算課主任技師	総務課主事（兼）電算課技師
中 井 智 美	総務課主任主事（兼）電算課主任主事	総務課主事
大屋鋪 典 明	仲多度支所主任技師	大川支所技師
重 安 康 予	大川支所主事（兼）中部支所主事	大川支所主事

会 と 催 し

開催月日	会 の 名 称	開催場所
3 月 4 日	都道府県土地改良事業団体連合会事務責任者会議	東京都
7 日	平成 19 年度換地処分実務研修会及び土地改良換地士部会	高松市
〃	仲多度土地改良事業推進協議会平成 20 年度通常総会	琴平町
11 日	満濃池土地改良区総代会	善通寺市
12 日	中国四国土地改良事業団体連合会協議会事務責任者会議	広島県
15 日	香川県内場池土地改良区第 61 回通常総代会	高松市
17 日	香川地区国営総合農地防災事業推進協議会幹事会	高松市
21 日	観音寺市一ノ谷池土地改良区第 56 回通常総代会	観音寺市
22 日	木田郡三木町土地改良区第 38 回通常総代会	三木町
24 日	香川県農業会議第 97 回通常総会	高松市
25 日	本会第 50 回通常総会	高松市
26 日	香川地域広域基盤確立推進協議会	丸亀市
〃	琴平町土地改良区第 9 回通常総代会	琴平町
27 日	全土連第 50 回通常総会・第 49 回全国土地改良功労者表彰式並びに農業農村整備優良地区コンクール表彰式	東京都
〃	疏水ネットワーク平成 19 年度第 2 回通常総会	東京都
〃	香川用水土地改良区第 41 回通常総代会	高松市
28 日	香川県三豊市三野町土地改良区第 39 回通常総代会	高松市
29 日	地域用水環境整備事業（一ノ谷池親水公園）竣工式	観音寺市
31 日	三豊地区土地改良協議会第 50 回通常総会	観音寺市
〃	綾歌土地改良協議会平成 20 年度通常総会	坂出市
〃	満濃町土地改良区第 26 回通常総代会	まんのう町